

超高齢社会と在宅医療

平成26年6月2日

桑名医師会 東 俊策

超高齢社会における医療の問題点

- 病いと老い
- 認知症
- 尊厳死
- 終末期医療
- 在宅医療

在宅医療

- 死亡者数が約50万人増加すると予測される
- 医療が必要な高齢者はもっともっと増加する
- ベット数は増加できない



自宅あるいは施設での療養

在宅医療の問題点（患者サイド）

- 急変時の対応
- 介護者への負担
- 療養環境（治療機器を含め）のレベル低下
- 独居
- 終末期・看取りへの不安

在宅医療の問題点（医療サイド）

- マンパワー不足（医師、訪問看護師など）
- 医療連携（在宅医・後方ベット・急性期病院）
- 診療情報の共有内容とその範囲
- 終末期の24時間対応
- 高度な医療機器への対応

医療サイドの対応策

- 多職種（特に訪問看護師）との連携
- 在宅医療担当医を増やす
- 在宅療養支援診療所（病院）
 強化あるいは連携（グループ化）
- 主治医と副主治医制
- 在宅医療専従の診療所との連携
- 後方支援ベット

(在宅療養) 後方支援ベット

急変時など病態の変化あるいは療養環境の変化（レスパイトを含む）に応じて、一時的に入院療養を行う。



有床診療所・療養型病院
在宅療養支援病院
在宅療養後方支援病院

桑名の後方支援ベット

	後方支援ベット	
● 療養型病院	3 施設	1 1
● 急性期病院（＋療養病床）	3 施設	6
● 有床診療所	3 施設	3
計	9	20

在宅医療への医師会の対応

在宅医療連携拠点を核にした連携

